情報通信業

RICOH Smart Huddle

お客様事例

RICOH
imagine. change.

ボイット株式会社 様

ボイット株式会社 様

- 本社所在地 ：東京都渋谷区千駄ヶ谷3-51-10
- 設立年月 ：2023年8月
- 従業員数 ：35名（2026年9月1日現在）
- 事業内容 ：音声ソフトウェアおよびコンピュータシステムの企画、開発ならびにその運営
- ホームページ：https://voyt.com/

AI搭載インカムのVOYT CONNECTを提供し、医療・介護・宿泊・製造の現場における円滑なコミュニケーションとDXを支援しています。



ボイット株式会社
代表取締役 CEO
永冨 泰高 様

AI搭載インカムのVOYT CONNECTが実現する「現場のDX」。新しい働き方をあらゆる現場へ。



ボイット株式会社様は、VOYT CONNECTの端末の最終調整と出荷を担う、浜松キッティングセンター*を2026年秋、静岡県浜松市に開設しました。同社は、業務効率化のための各種ソリューションをAI搭載インカム「VOYT CONNECT」で連携させ、新しい働き方の実現を目指しています。リコージャパンはオフィス環境構築に必要なソリューション導入を支援しました。

＊キッティング：端末へのインストールや各種設定を行い、すぐに使える状態にする作業

ご要望		新しい働き方
拠点間の連携	東京～浜松のように距離があっても、孤立せずにスムーズに連携したい	画面の常時接続で距離感を縮め、隣席にいるようなコミュニケーションを実現
対応の迅速化	作業の手を止めずに、来客や状況の変化にすぐ気づきたい	自動音声による通知で、来客や異変に即座に対応できる環境を整備
知識の共有	些細な疑問や作業手順を、遠慮なく確認できるようにしたい	気兼ねなくAIに質問でき、音声接続で東京本社にも相談できる体制を実現

※RICOH Smart Huddle：リコージャパンが提唱する、空間とデジタルサービスを組み合わせた働き方の提案

業務効率化ソリューションを音声コミュニケーションでさらに強化

ボイット株式会社様

―― ボイット株式会社様の浜松キッティングセンターの構築支援の経緯について、リコージャパン デジタルサービス営業本部 中部統括センター 中部未来づくり推進部 部長の志田遼太郎は、「新拠点の立ち上げにあたり、オフィス環境構築のご相談をいただきました。AI搭載インカムのVOYT CONNECTは、リコージャパンのコミュニケーション製品と親和性が高く、インカムを軸にボイット社様のパートナーとして業務効率化の仕組みづくりに取り組んできました」と話します。ボイット社様に詳細を伺いました。

AI搭載インカムの実証拠点で業務効率化を加速

ボイット社 代表取締役CEOの永冨泰高様は、新たな拠点を構えた理由を次のように説明します。

永冨様「当社は現場のDXを実現するために、音声AI技術で人と業務システムやAIをつなぐVOYT CONNECTを提供しています。導入されるお客様は現場の最前線で働く方々が中心です。一方、当社はデスクワークの従業員が多く、現場への理解をより深めるため、AI搭載インカムのキッティング作業を自ら体験しながら実証運用する拠点を開設しました。リコージャパンさんには当社の商材を販売していただいており、そのパートナーシップをもとに企画検討を重ねる中で、今回の取り組みが生まれました。現場での実践を通じて働き方がどう変わるのかを検証しています」

永冨様「インカムは通話手段にとどまらず、新しいインターフェースとして高い価値を発揮します。VOYT CONNECTの特長は、即応性とグループ対応力です。そこにAIが加わることで、現場の働き方が大きく進化します。緊急地震速報の警告音に人が瞬時に反応するように、音は注意を引きつけ、すぐに伝わるので、スムーズなやり取りが可能です。

また、メンバー全員へ同時に発信できるので、チーム全体で対応でき、業務の停滞を防げます。

即応性とグループ対応力に、AIの機能を組み合わせて、さまざまなソリューションを集約できるのがVOYT CONNECTの強みです」

新拠点で実証する4つの連携ソリューション

―― ボイット社 オペレーション統括部で、浜松での運用準備を進めてきた浦辺浩気様に、連携した4つのソリューションについて伺いました。

RICOH Collaboration Board（リコー）
VOYT CONNECT（ボイット社）



浦辺様「ボイット社の東京本社と浜松キッティングセンターに大画面のRICOH Collaboration Boardを導入し、両拠点のオフィスを常に見渡せるようにしました。さらにVOYT CONNECTを連携して、RICOH Collaboration Boardの画面左側にオフィスの映像を、右側にVOYT CONNECTのチャットなどを表示し、確認がすばやく行えます。お互いのオフィスが映っているため、同じ空間で背中を合わせて働くようなライブ感があります。監視されるような窮屈さも、Web会議の接続の手間もありません。マイクのミュート解除だけで隣の人に話しかける感覚で、すぐに相談できます。

距離による作業効率の低下をほとんど感じず、リアルタイムで情報共有できることを実感しています。浜松で勤務していても、まったく孤独を感じず、東京の仲間と『今日のお昼は何にする？』といった雑談も交わせるので、リフレッシュにも大いに役立っています」

RECEPTIONIST（RECEPTIONIST社）
VOYT CONNECT（ボイット社）



浦辺様「RECEPTIONISTは、受付で来訪者が情報を入力すると、担当者全員へ瞬時に到着が通知されるクラウド受付システムで、来訪者と担当者の双方の無駄な動線を省けます。少人数の現場では全員が作業に集中することも多く、通知された文字や画面を常に確認するのは難しいものです。そこで、RECEPTIONISTとVOYT CONNECTを連携させ、音声で情報が届くようにしました。

入力された情報は音声合成され、インカムで読み上げられます。従来の呼び出し音では誰が来たのか分かりませんが、作業の手を止めずに詳しい情報を聞けるため、スムーズに対応できます。いちいち手を止めず、音で聞いてそのまま動ける無駄のなさが、現場で一番スマートだと感じています。担当者不在の場合でも、設定したグループに音声が届くので、周囲もフォローしやすいです」

Interview



ボイット株式会社
代表取締役 CEO
永冨 泰高 様



ボイット株式会社
オペレーション統括部
浦辺 浩気 様



リコージャパン株式会社
デジタルサービス営業本部
中部統括センター 中部未来づくり推進部 部長
志田 遼太郎

AI音声コンシェルジュ
（リコー）

VOYT CONNECT
（ボイット社）



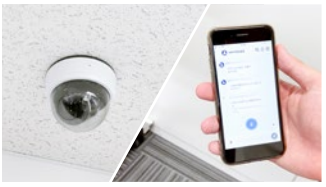
浦辺様「新人スタッフは質問しづらいものですが、AI音声コンシェルジュなら相手がAIなので遠慮せずに何度でも質問でき、その場で疑問を解消できます。事前にマニュアル化して登録した手順に沿って案内してくれるので、教える側・教わる側の双方にとって安心感があります。

私が手を離せない状況でも、AIが回答してくれます。個別の判断が必要な場合は、新人スタッフが画面の『スタッフを呼ぶ』ボタンを押すとボイット社の東京本社に音声接続され、すぐに指示を仰げるので作業も停滞しません。

質問内容が蓄積されるのもメリットで、今後の業務標準化の参考になります。荷物の集荷時間や、集荷業者が来ない場合の連絡手順など、暗黙知になりがちな情報も登録して業務ルーティンに組み込むことで、離れた拠点でも円滑に問題を解決できるようになりました」

GUARD-FORCE
（セキュア社）

VOYT CONNECT
（ボイット社）



浦辺様「防犯システムのGUARD-FORCEは、カメラの映像から動体や想定外の動きをAIが検知し、RICOH Collaboration Boardの画面に通知します。キッティングセンターには高価な精密機器があるため、カメラを設置してVOYT CONNECTを連携しています。事前に設定したルールから外れた状況が発生すると、即座に音声通知が届きます。

防犯カメラは映像を録画し、後で確認する使い方が一般的ですが、VOYT CONNECTと音声連携すればリアルタイムに異変を把握できます。さらに、動体検知と音声が連携することで、侵入やスタッフの転倒といった緊急事態にも迅速な対応が可能です。こうした即応性を高める仕組みとして、今後多くの現場で活用できると確信しています」

人を中心に、オフィスへも広がるVOYT CONNECT

浦辺様「多くのITツールは、個別に導入するとシステムが分断され、現場の運用もちぐはぐになりがちです。浜松では、VOYT CONNECTを通じて4つのソリューションを連携させることで、組織が一体となって機能する体制が整いました。実際に現場に身を置くことで改善点も見え、ここで得た知見をすぐに製品に反映し、この拠点を発展させて理想のモデルケースにしていきたいです」

永冨様「当社は音声を起点とした現場のDXを目指しています。AIが代替できる業務は増えていきますが、根底にあるのは『あくまで人が中心である』という考え方です。人が、人にしかできない付加価値の高い業務に集中できるよう、AIを活用していきたいと考えています。リコージャパンさんも、人を中心に据えた働く場所や働き方の変革を提案されています。両社の目指す方向性は近く、共創を深めながら、さまざまな業界へソリューションを広げていきたいです」

―― リコージャパンは、ボイット社様のご協力のもと、浜松キッティングセンターをソリューション紹介のショールーム*としても活用しています。リコージャパンの志田は、その狙いを次のように語ります。「デジタルコミュニケーションは、実際に使われている様子に触れることが何より大切です。連携で変わる働き方を全国の皆様にぜひご体感いただきたいです。私たちが提唱するRICOH Smart Huddleは、空間とデジタルサービスを組み合わせて理想の働き方を実現する実践的なアプローチです。今回のご提案で最も重視したのは、単なる製品導入ではなく、複数のソリューションを有機的に連携させることでした。工場や建設などの現場で使われることが多いインカムを、今後はオフィスにも広げて『オフィスインカム』として展開していきたいと考えています」

＊要予約。詳細はリコージャパンの営業担当者にお問い合わせください。

「RICOH Smart Huddle（リコー） × VOYT CONNECT（ボイット社）」で実現する業務効率化ソリューション

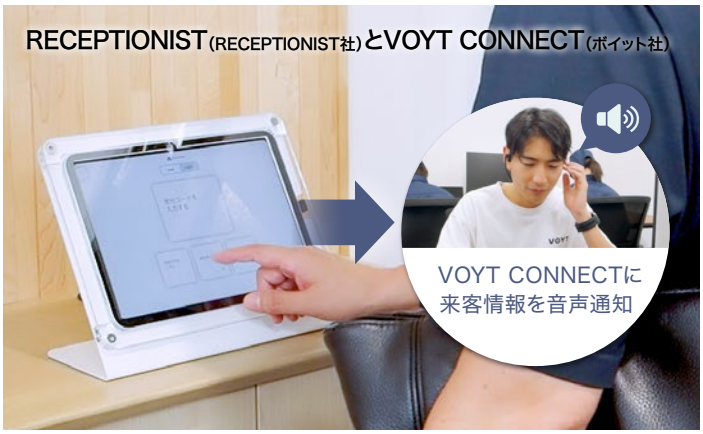
RICOH Collaboration Board（リコー）とVOYT CONNECT（ボイット社）



離れていても、心の距離はすぐ近く

常時接続の大画面で、遠隔での気軽な会話が可能。
スムーズな相談や情報共有を実現。

RECEPTIONIST（RECEPTIONIST社）とVOYT CONNECT（ボイット社）



ストレスなく、すばやく来客対応

クラウド受付システムとの連携で来訪者情報を音声通知。
作業を中断せず、ハンズフリーで来客対応。

AI音声コンシェルジュ（リコー）とVOYT CONNECT（ボイット社）



業務の疑問をその場で解決

AIによる疑問解決と、東京本社からの音声フォローで、
教わる側の心理的負担と教える側の手間を軽減。

GUARD-FORCE（セキュア社）とVOYT CONNECT（ボイット社）

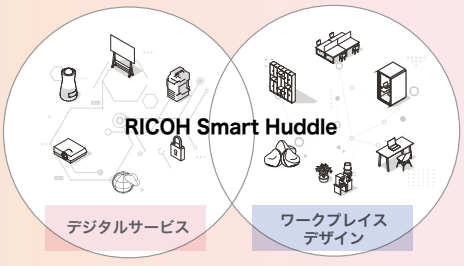


異変にリアルタイムで対応

防犯カメラ映像の異常をAIが検知し、映像と音声で通知。
インカム連携で事故防止や初動対応の迅速化を支援。

RICOH Smart Huddleで、次の「現場のDX」へ。

多くの現場でデジタル化が進む中、次に求められるのは、働く人を中心に、
現場のあり方を見つめ直す視点です。一つひとつの現場で、最適な働き方は違う。
だからリコージャパンは、目の前のお客様の働き方に向き合うことから始めます。
RICOH Smart Huddleは、人に寄り添うICT活用と空間の最適化を通じて、
より快適で効率的な「新しい働き方」を実現する取り組みです。



※ボイット、VOYTおよびVOYTのロゴは、ボイット株式会社の登録商標です。※RECEPTIONISTは、株式会社RECEPTIONISTの登録商標です。※GUARD-FORCEは、株式会社セキュアの登録商標です。
※製品の仕様および機能は、改良のため予告なく変更させていただく場合があります。※サービス・製品の詳しい性能・仕様・制約条件などについては、営業担当者にご確認ください。※本資料に掲載のその他の会社名および製品名、ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社
東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル
〒105-8503

https://www.ricoh.co.jp/case/2611-voyt

●お問い合わせ・ご用命は・・・

このカタログの記載内容は、2026年11月現在のものです。